

台湾の新語・流行語となった日本の漢語
——新聞及びインターネットでの使用状況

王敏東 陳錦怡

○ はじめに

日本の漢語とはもともと中国起源の語を指している。しかし、近年日本起源の漢語が台湾に入ることがある。たとえば、「失格」などのような中国語を手本にした新漢語であるが、近年台湾での日本ブームに乗り、いつの間にか「日本語」という新鮮さをもって台湾で通用している中国語に入り込み、中には流行語となったものまで出ている。

新語や流行語に対する定義は学者などによって異なることがある。本稿は台湾の新語を収録した『新詞語料彙編1』及び『新詞語料彙編2』（ともに台湾教育部編纂）に収録された語を新語、また、両資料で「流行語」とされた語を流行語とし、「台湾の新語・流行語」と呼ぶ。

このような「台湾の新語・流行語」の中には、日本語（または日本）と関連のある語があり、とくに日本で用いる表記及び意味の漢語がそのまま台湾に伝わり、使用されているのは10語（「変身」「美少女」「天敵」「假面」「直滑降」「失格」「熱血」「人気」「悪女」と「庭師」）ある。本稿はこの10語を「台湾の新語・流行語となった日本の漢語」と呼び、台湾の新聞及びインターネットでの使用状況についてまとめ、検討した。

1 新語とは

加茂（1944）は新語を「新出語」、「相対的新語」、「新用語」、「新造語」、及び「新流行語」という5つに分けている。

また、『国語学大辞典』（1980）の「新語・流行語」に対する定義を箇条書きにまとめると、下記の3点になる。

- （1）新しくその言語社会に現れた語。
- （2）既存の事物や概念を新しく表現するために作られた語。
- （3）その語の自然な語彙変化とはいいがたい、度を越えた新しい意義を与えられてその存在権を社会によって承認された語。

米川 (1989、1989) は加茂と『国語学大辞典』が定めた新語の定義を参考にしながら、自分の意見を提出し、改めて新語の定義を下した。米川が考えた新語は3種類に分けられる。

- (1) 新しくその言語社会に現れた語。これはさらに「新造語」と既存の語を利用した新語の2種がある。
- (2) 「新用語」。物事や概念を新しく表現するために新しい意義が与えられた語。
- (3) 「新出語」。隠語や俗語などの一部の限られた社会に使用されていた語が一般語に入ってきた場合の新語。

上述した3つの文献における新語の定義をまとめると、表(一)のようになる。

表(一)

定義		加茂	国語	米川
新しくその言語社会に現れた語	新造語	○	○	○
	既存の語を利用した新語	×	○	○
物事や概念を新しく表現するためにあたらしい意義を与えられた語である：新用語		○	○	○
隠語や俗語などの一部の限られた社会に使用されていた語が一般語に入ってきた場合も新語である：新出語		×	×	○

一方、許(2000年)は新語にはマスメディアから認められることが必要だと更に指摘した。言語の普遍性、つまり「公的に認められた」という客観的な基準をマスメディアに求めたわけであろう。

2 流行語とは

加茂(1944)は流行語について、新語の中で特に「新流行語」と名づけたものを掲げ、「新語として、若い人たちの愛用するものは、新造語のすべてではなく、新造語の中で、特殊な、意義、色合、音調などをそなへた若干のものである。若干のものではあるが、その使用頻度が非常に高いため、著しく目立ったり、耳立ったりする。」と述べた。

また、『国語学大辞典』(1980)には「新語の中、内容や語形の新奇さ、面白さでその時の人々に好まれて口ずさまれ、文字言語にも登場するに至ったものは、特に流行語と称する。」と「新語の一種。その時代に適応して、きわめて感化的意味が強く、爆発的な民衆の使用語。多くは徐々に消滅するか、あるいは一般語彙に定着する。はやりことばとも。」という流行語に関する記述がある。

一方、米川(1989)は『国語学大辞典』の流行語に対する定義を全面的に認めたわけで

なく、流行語が必ずしも新語の一種ではないことを指摘し、流行語について「その時代に適応して、きわめて感化的意味がつよく、広く民衆に使用された言葉である」と簡潔に述べた他、更に「現れる時間」及び「使用される状況」も強調した。

この3つの先行研究が定めた流行語の定義は表（二）のようにまとめられる。

表（二）

定義	加茂	国語	米川
新造語∩新流行語	○	×	×
流行語は新語の一種である	×	○	×
流行語はある特定の時期にのみ現れる	×	○	○
広く使用されている	○	○	○

また、中国語の文献であるが、刁（1995年）は流行語の具体的な「時間制限」、許（1998年）は流行語の具体的な使用状況をとくに強調した。

3 台湾における「日本と関連のある新語・流行語」について

時間的に見れば、台湾が新語または流行語に目が向くようになったのはごく最近のことである。出自を見れば、台湾における新語また流行語は中国大陆と関連のある言葉、方言（主に台湾語）の影響を受けた言葉や、何らかの形で日本と関与したものなどがある。

以下、「台湾における新語」「台湾における流行語」「日本と関連のある新語・流行語」そして「台湾の新語・流行語となった日本の漢語」について述べる。

3-1 台湾における新語

1990年頃から、新語を検討する論文が台湾で見られるようになった。中国大陆の用語などが台湾で新語として注目されるようになっている。

一方、台湾の教育部は、1996年7月から1997年12月までの新聞から用例をあつめ、『重編国語辞典修訂本』に収録されていない語を新語と定義し、1998年に『新詞語料彙編1』を出版した。これによって台湾における本格的な新語のデータベースが現れたと言えよう。更に、2000年に教育部はまた1998年1月から12月までの新聞から用例をあつめ、『新詞語料彙編2』も出版した。

3-2 台湾における流行語

近年、台湾の流行語をあつめた書籍が見られるようになった。たとえば、『流行語中的情趣』（1996）、『流行語強強滾』（1999）、『流行語粉有趣』（2001）などがあげられる。しかし、そのほとんどがユーモアのある筆調で台湾の流行語を記述したもので、本格的な研究から

はかけ離れている。一方、台湾の流行語を研究の対象として取り扱ったのは元 (1989)・許 (1998年) などが先趨であろう。なお、『新詞語料彙編 1』と『新詞語料彙編 2』に収録された語の「KIND」欄に「流行語」とされたものがある。

このように、台湾で流行語に対する意識が高まったのはごく最近のことであると言ってよからう。

3-3 日本と関連のある新語・流行語

台湾における新語・流行語の日本語 (または日本) との関連についての研究は散見されるが[注 1]、比較的新しい研究分野であることもあり、全面的に論じられていない。たとえば、つ、許が重要視した部分である、流行語の流行した期間、使われた分野・領域などについては、具体的な研究は皆無である。

教育部の『新詞語料彙編 1』及び『新詞語料彙編 2』に収録されている日本語 (または日本) と関連のある新語・流行語はだいたい以下、幾つかのパターンがある。

- (1) 日本語の漢字表記をそのまま借用したもの。たとえば、「変身」、「失格」、「人気」、「安室」など[注 2]。
- (2) 日本語の漢字表記の一部を変えたもの。たとえば、日本語の「独身貴族」を台湾で「单身貴族」にしたというようなもの。
- (3) 日本語を音訳したもの。たとえば、「あなた」を台湾で漢字「阿那達」であてたりするもの。
- (4) 日本語を意識したもの。たとえば、「バーコードカット」を台湾で意識して「條碼頭」となったようなもの。
- (5) 方言 (台湾語) を通して中国語となったもの。たとえば、「黒輪」(日本語の「おでん」→台湾語→台湾で使われている中国語)、「運將」(日本語の「運ちゃん」→台湾語→台湾で使われている中国語) などである。
- (6) 台湾での造語。たとえば、「哈日」(「哈」は台湾語で、盲目的に崇拜、あこがれの意で、「日」は日本のこと。したがって、「哈日」は日本びいきの意)、「桜桜美代子」(台湾語で発音すると、「暇で暇でしょうがない」の意で、わざと日本人女子の名前っぽく造語したもの) など。
- (7) 日本からの要素を台湾で何らかの変形をした造語。たとえば、「超正」は日本で流行の接頭語である「超」を台湾で流行の「正」(すてき、立派の意) に結び付けたもの。

上述のように日本語からの外来語が多く、混種語や台湾での造語もある。数に注目すれば漢語はこの中で一番多い。

3-4 台湾の新語・流行語となった日本の漢語

本稿では「(日本語) 漢語」が、台湾で使われている中国語に入って、台湾の新語であり、かつ流行語となったものを検討する対象とした。具体的には『新詞語料彙編 1』及び『新詞語料彙編 2』に収録されているものに限る。したがって、本稿で取り扱うのは「変身」「美少女」「天敵」「仮面」「直滑降」「失格」「熱血」「人気」「悪女」「庭師」の計 10 語である。

この 10 語の中には、日本においてすでに流行語とされたものも含まれる[注 3]。

3-4-1 新聞での使用状況

これらの語が台湾でどの分野でどのぐらい「流行」したかを知るため、3 年間にわたる新聞を調べてみた。『新詞語料彙編 1』に収録された「変身」「美少女」「天敵」「仮面」「直滑降」「失格」「熱血」「人気」「悪女」の 9 語を 1997 年 1 月 1 日～1999 年 12 月 31 日の新聞、『新詞語料彙編 2』に収録された「庭師」を 1998 年 1 月 1 日～2000 年 12 月 31 日の新聞を調査し、それぞれ調査した 3 年間の新聞で使われた状況をまとめた。

調査に用いた新聞は台湾でかなり広く読まれている「中国時報」(夕刊の「中時晩報」を含む)の「中時電子報」(電子版)である。

まず、これらの語が新聞の各紙面でどのぐらい使用されたかをチェックし、各語の性質を見出す。また、今回調査した 10 語が全体的に各領域・分野でどのように使用されているかを検討する。一方、だいたい台湾で「新語・流行語」と認定されて以来の 3 年間で新聞に使われた数の変化を観察し、「数」で「流行」の程度をはかってみた。各語の新聞での使用例の数を<付録 I>に掲げている。

(1)「変身」:「変身」ということばは日本では『本朝文粹』などの古い例があった[注 4]。中国でも『三国演義』に例があった[注 5]。が、現在、台湾では「変身」に対するイメージは、どうも日本の『仮面ライダー』などのアニメに登場した主人公の特技に由来しているように思われる。『仮面ライダー』などのアニメに登場した人物が「変身」する超能力を持ち、いつも緊急の時に怪獣などの悪い役に勝ち、人類や地球を救った。こういうアニメの台湾進出により、「変身」する特技が広く知られるようになり、「変身」ということばも台湾に入ってきた。

このように「変身」が台湾に入って、流行語とまでなった。その使用分野は新聞の紙面においては、政治、経済、芸能、スポーツなどけっこう幅広い。たとえば、政治家のことを皮肉に言っている「議長陳健治並直斥陳水扁由民代變身官員，沒有理由要求問政環境隨他改變…質疑陳水扁對己對人有兩套標準。」(1998 年 1 月 7 日、地方)、「章孝嚴由總統府發言人丁遠超代替出面聲明…彷彿變身為一名無辜的受害者。」(1999 年 12 月 22 日、社説)の例や、会社の経営形態を描写する「從佣金行業到事業投資公司，日本綜合商社變身之路才走到一半卻滯礙不斷。」(1997 年 2 月 5 日、経済)、芸能人の格好・変装の「爲了演唱會 王

力宏 變身猛男」(1998年9月11日、芸能)などはそれである。

この程度であれば、安定した使用状況であり、ことばとしてすでに定着していると言ってよかろう。

(2)「美少女」:『日本国語大辞典』(二版)によると、江戸時代の『好色一代女』の用例があるという。1987年から「全日本国民的美少女コンテスト」が行われたり、アニメ「美少女戦士セーラームーン」が発行されたりした。このような動きも台湾に影響を与えた。たとえば、1997年に選ばれた美少女である後藤久美子が台湾でも広く知られているし、アニメ「美少女戦士セーラームーン」も台湾名「美少女戦士」でテレビなどに進出している。

台湾の「美少女」の例として、「美少女報氣象? 華視要從綜藝節目找人…」(1998年9月22日、芸能)、「來自西南非的美少女 Cicelia・心甘情願地跟著台灣南投草屯的蔡先生・遠來台灣共築愛巢…」(1998年12月2日、社会)、「拋開網球一個多月的瑞士美少女辛吉絲…」(1999年5月7日、スポーツ)、「宮澤理惠是九〇年代的日本「3M 美少女」…」1999年11月29日、芸能)などがあげられる。

(3)「天敵」:「天敵」はもと生物学の用語で、日本語にも中国語にもある。『日本国語大辞典』(二版)で引用された古い文献として1933年の『新聞語辞典』があげられる。台湾の「日本語(または日本)と関連のある新語・流行語」とされる「天敵」は教育部『新詞語料彙編1』の「…天敵是日本女高中生用來形容非常討厭的人」という解釈に因んでいる。

「天敵」は今度調査した1997~1999年の新聞で、毎年十数例が現れ、中に、とくにスポーツと社説で比較的よく使われている。競技や政治上、「強いライバル」「どうしても勝てない敵」の意で多く使われている。たとえば、「…南韓則是中華男子隊近年來的天敵、國際賽中遭遇南韓隊、我軍是輸多贏少…」(1998年9月30日、スポーツ)、「遇到「天敵」洋基隊、德州游騎兵就沒戲可唱。」(1999年10月10日、スポーツ)、「政治是司法的天敵」(1998年7月16日、社説)、「現年三十八歲、且是十一歲和六歲兩個孩子的媽、前選美協會總幹事姜文淑要用寫真集來證明、年紀不是女人的天敵…」(1998年1月11日、芸能)のような例がある。

(4)「仮面」:「仮面」は新聞において、いくつかの紙面で、ある程度使われているが、とくに‘芸能’関係の紙面で数多く使われたことが観察できた。全体的な用例数は3年間増加しており、安定して使用されている状況となっている。具体例としては「鈴木保奈美…川井一仁…夫婦兩人…聚少離多…日本部份媒體…稱鈴木保奈美和川井一仁是一對「仮面夫婦」。」(1997年8月25日、芸能)という芸能関係の例、や政治上の虚実・真偽を描く「談判破裂…反證所謂「連宋配」的仮面。」(1999年7月17日、焦点)などの例がある。

(5)「直滑降」:『日本国語大辞典』(二版)では『雪の涯の風葬』(1969)の例しかあげなかった。一方、台湾の『新詞語料彙編1』に「直滑降是日本年青人用來形容早洩的男人」とあり、「外来語・流行語」とされている。しかし、今回調べた3年間の新聞で「直滑降」

は全く使われていない。「流行」の気配は少なくとも新聞では見つからない。

(6)「失格」:『日本国語大辞典』(二版)によると、1921年の『新しき用語の泉』に「失格」が入っている。よって、日本では当時「失格」は新語とされていたことが分かった。ちなみに、中国語の辞書である『国語日報字典』『教育部国語辞典』『現代漢語詞典修訂本』『詞海』や『大辭典』などでは「失格」は見当たらない。

台湾で「失格」ということばが知られた状況であるが、日本語学科出身なら、日本文学史などの授業で、太宰治の『人間失格』が紹介された時に聞いているであろう。ところが、新語・流行語としての「失格」は日本のドラマ「人間失格」が台湾のケーブルテレビで放送されたことと関連があると思われる[注6]。

「失格」は、調査に用いた新聞で、毎年10数~20前後の例が見出せる。分野で言えば、政治、社会、経済、芸能、スポーツなど9つの紙面で使用されている。中でも、スポーツ紙面の(3年あわせて)20例が他の紙面の用例数よりはるかに多い。

台湾で使われている「失格」の意味を、たとえば、競技場などで試合に出場する「資格を失う」意(たとえば、「去年亞特蘭大奧運尋求衛冕的克利斯提，卻因為連續兩次偷跑，被判失格...」(1997年8月11日、スポーツ)、「大陸男選手風光，女選手卻失格，陳樺以超齡參賽，被俄羅斯游泳隊檢舉，被判失格。」(1998年7月16日、スポーツ)や、「品格・氣品(中国語で言うと「格調」のこと)を失う」意(たとえば、「(姜文淑)…提出訴訟是爲了證明自己的清白，她也希望唐日榮不要失格，要勇敢地站出來面對司法。」(1997年7月9日、社会)、「黃奠華是現任高院庭長…他風評奇差，卻善自辯…司法官在失貞之後，實在不應再失格和無恥。」(1997年12月28日、一般)、「李登輝又罵宋楚瑜了。…但罵人罵到「奸巧」、「到底愛不愛國」等字眼一再出口，就一國元首的身分來看，就未免有些「失格」了。」(1999年12月9日、社説)と大きく分けられる。

(7)「熱血」:「熱血」はもと名詞で、中国元の時代に用例があった[注7]。しかし、台湾では『サラリーマン金太郎』のような漫画や、80年代に日本で人気の高かった「熱血ドラマ」などを通して、新しい意味が入れられ、新語さらに流行語となったと思われる。1997~1999年の新聞において、「熱血」の使用頻度が年々増えている。使われた紙面も焦点、社会、地方、芸能、スポーツ、社説、一般など幅広い。たとえば、「去年在電視版「麻辣教師」中熱血演出的反町隆史...」(1999年8月5日、芸能)、「李鍾桂認為，救國團一直是一個充滿活力、熱血的青年團體...」(1999年1月31日、焦点)、「嚴秀峰回憶說，這個決定使得這一支熱血的革命隊伍，頓時失業...」(1999年10月25日、政治)などの用例がある。

(8)「人気」:「人気」は今回の調査に用いた3年間の新聞で毎年300以上の用例が現れている。医薬と旅行以外、すべての紙面で使われていた。芸能では毎年70例以上という多くの用例が出ており、安定した使用状況となっている。経」では1997年に172例、1998年に31例、1999年に9例というふうに、用例数が激減しているが、株では1997年の0例か

ら、1998年の45例、1999年の119例に、年を追うごとに多く使われるようになってきた。

「芸能」の「在台灣人氣比韓國更驚人 莎拉・布萊曼笑著抵台」(1997年11月27日)、「人氣歌手濱崎步」(1999年12月10日)など以外、焦点の「人氣回籠 股市大漲224點」(1998年12月22日)や、経済の「國賓股在利空不跌下, 今日吸引大量人氣...」(1997年12月26日)などの例もある。

ちなみに、接頭語「超」をつけた「超人氣」(たとえば「與會的都是港台一時之選的超人氣藝人」(1997年12月30日、芸能)を別に計算すると、1997年～1999年にかけてそれぞれ71、116、192の用例が見られた。

(9)「悪女」:『日本国語大辞典』(二版)によると、中国では『史記』、日本では『曾我物語』などで「悪女」の例が見られる。ところで、教育部『新詞語料彙編1』に「悪女」は「...源自深見惇原著漫画《悪女》; 此惡並非罪惡、作惡之意、而是表示打破傳統性別枷套之意」とある。新語・流行語の「悪女」はごく少数の例以外、ほとんど芸能に集中して使われていた。たとえば、「鄰家妹妹 廣末涼子變「悪女」」(1997年11月9日)、「日本悪女 松田聖子出道時...」(1998年11月23日)、「華視單元劇「奪情花」昨天開鏡, 「花系列」的悪女們, 包括第一代的潘儀君、近一代的梁家榕, 及楚楚可憐的小媳婦張庭等人, 再度同台飆戲。」(1999年3月25日)など、いずれも芸能紙面で使われた例である。

なお、用例数として、3年間の年ごとの使用状況は3例、18例、22例のように多くなっている。

(10)「庭師」: 教育部『新詞語料彙編2』(2000)によると、「庭師」は「家庭教師」の略で、日本の若者の間で使われているという。しかし、われわれの知っている限り、必ずしもそうでないことが分かった[注8]。また、台湾でも今回新聞における調査では用例は見当らなかった。

用例数から見れば、「人氣」「美少女」の用例は多かったが、「直滑降」「庭師」は1例もなかった。他の語は程度の差こそあるものの、実際に使われていた。

新聞のどの紙面で使われたかという点、芸能、焦点、経済、株、スポーツなどでは多く、医薬、生活などではほとんどないことが分かった。

アニメ、ドラマ、芸能人などの影響で台湾に伝わった日本語(または日本)と関連のある新語・流行語が多いので、主にテレビ、映画などのニュースを掲載する新聞の「芸能」紙面でこれらの新語・流行語がよく使われるのは自然なことである。ところが、これらの新語・流行語は硬い話題があふれる焦点、経済、株、社説、政治などの紙面にも進出している。

なお、これらの新語・流行語の使用状況が、各紙面の「日本と関連のある報道」の数に影響されるかについて、1999年の新聞における「日本と関連のある報道」の状況[注9]と比べてみると、さほど関連がないことが分かる。

また、「変身」は、政治で、「仮面」「悪女」は、芸能で、「天敵」「失格」は、スポーツで

比較的多く使用されている。これは各新語・流行語の性格と強い関連を見せた。

3-4-2 インターネットでの使用状況

台湾でよく利用されていると思われる tw.yahoo.com (台湾名「雅虎奇摩」、www.yam.com (台湾名「蕃薯藤」、www.sina.com.tw (台湾名「台湾新浪網」、www.pchome.com.tw の4つのサーチエンジンから、今回調査対象である10語は、どのような分野のサイトでどの程度使われているかを調査した。調査をした期間は2002年7月～9月の3ヶ月間である。各サーチエンジンの分類はそれぞれにやや違いがあるが、本稿では各サーチエンジンの分類に基づいて、個別に記録した。なお、4つのサーチエンジンで最後に同じWebサイトにつながることもあるかと思われるが、本稿ではとくに手を加えず、各サーチエンジンで検索した結果の通り記録した。各語がインターネットで使用された具体的な様子は<付録II>のようにまとめた。

(1)「変身」：4つのサーチエンジンから調査した結果、いずれも十数個のWebサイトで使われていることが分かった。‘芸能’‘娯楽’などに分類されたWebサイトで比較的多く用いられたが、ビジネス関係に分類されたWebサイトでも少々使われている。

(2)「美少女」：いずれのサーチエンジンからも2,300ぐらいのWebサイトで使われていたことが観察できた。この数から判断すると、相当に流行っている流行語だと言えよう。一方、分類の面から見れば、これらのWebサイトはだいたい芸能、娯楽やインターネット・コンピューターなどの類のWebサイトに集中している。他方、「美少女」は、政治や医療保健類のWebサイトでは全く使われておらず、科学・技術類のWebサイトでも使われにくい1語である。

(3)「天敵」：全体的に「科学・技術」などごく限られたWebサイトで使われた例がある。

(4)「仮面」：「仮面」は一部のWebサイトで用いられている。Webサイトの類別は「ビジネス」「レジャー」「芸能」「社会」「インターネット・コンピューター」などである

(5)「直滑降」：「直滑降」は今回の調査で1例も見当たらなかった。

(6)「失格」：「失格」はごく限られた種類の少数のWebサイトで使用されている。

(7)「熱血」：「熱血」は、芸能、インターネット・コンピューターなどの、多くのWebサイトで使われている。相当な数の領域で知られており、または用いられている。

(8)「人気」：「人気」は幅広い分野の数百個のWebサイトで大量に使われている。このような使用状況はインターネットで相当に人気のある流行語であることが分かった。

(9)「悪女」：「悪女」はpchomeで検索したら、26のWebサイトで使われていることが分かった。他の3つのサーチエンジンで検索した結果より、一番多くのWebサイトの数を得られた。それらのWebサイトはだいたいpchomeで、芸能、レジャーなどに分類されて

いる。よって、「悪女」は特定の分野で、ある程度使われているが、それほど広く普及しているとは言えない。

(10)「庭師」:「庭師」は今度4つのサーチエンジンを通して調査したところ、どこのWebサイトでも使用されていなかった。台湾のインターネットの世界では「流行」していない状況である。

これらの語が使われているWebサイトの数で言えば、「美少女」「人気」は数百のWebサイトで使われていたが、「直滑降」「庭師」は0だった。

Webサイトの分類で言えば、これらの語は、芸能、レジャー、インターネット・コンピューター、交友・チャットなどに分類されたWebサイトで多用されており、医薬類のWebサイトでほとんど使われていない。

「芸能」類のWebサイトでこれらの語が多く使われていることについては前にも少し触れたが、アニメ、ドラマ、芸能人などの影響で台湾に伝わった日本語(または日本)と関連のある新語・流行語が多いからである。

「変身」「美少女」「熱血」「悪女」などは「芸能」、「天敵」は、科学・技術類のWebサイトで多く用いられている。これらの語の性格の表現だと考えられる。

3-4-3 新聞及びインターネットで使用された状況の比較

以上、本稿で取り扱った10語が台湾の新聞及びインターネットで使用されている状況を検討してきた。調査に用いた新聞、サーチエンジンの期間がややずれているが、各語の総使用量やここ数年の数の変化がだいたい読み取れた。全体的に「美少女」「人気」は今でも多く使用されている。「直滑降」「庭師」は全く使用されていない。他の6語はある程度使われており、これからの変化は観察に値する。

「直滑降」は新聞、インターネットで用例が見当たらないのはその意味・用法がとても公的に取り上げる話題に向いていないことと関係があるだろう。「庭師」はその略語法が普通の中国語における略語法[注10]と異なるので、台湾で一般化しにくいと考えられる。なお、この2語とも語形から直接意味が読み取りにくく、やや頭を回転させる必要のある「隠語」めいた性質がある。それが台湾で広く普及しない一因でもあろう。

また、新聞と各サーチエンジンの分類は少々違うが、だいたいの方向が一致している。よって、10語が用いられた分野もだいたい分かった。新聞は、芸能、焦点、経済、株、スポーツなどの紙面でこれらの新語・流行語をより多く使い、医薬、生活などの紙面ではこれらの語をあまり使わないようになっている。インターネットではこれらの新語・流行語が芸能に分類されたWebサイトで多用されている点と、医薬類のWebサイトでほとんど使われていない点が、新聞での使用状況と共通する。新聞では焦点、経済、株、社説、政治などの紙面でもこれらの語を用いている。一方、Webサイトでは新聞に相当する紙面のない

レジャー、インターネット・コンピューター、交友・チャットなどでもよく使われている。

このように、これらの語は芸能関係の領域で一番多く使われていることが分かった。それは日本語（または日本）と関連のある新語・流行語がアニメ、ドラマ、芸能人などの影響で台湾に伝わったものが多いことと強い関係がある。また、他の（新聞の）紙面や、いろいろな種類の Web サイトでもかなり用いられている。ただし、医薬だけはこれらの語とほとんど無関係な分野である。

4 結び

台湾の教育部が編纂した『新詞語料彙編 1』『新詞語料彙編 2』の「流行語」に収録されているものの中には、日本と何らかの形で関連している語が見られる。中でも日本で用いる表記及び意味の漢語がそのまま台湾に伝わり、使用されているものは「変身」「美少女」「天敵」「假面」「直滑降」「失格」「熱血」「人気」「悪女」と「庭師」の 10 語である。これらの語のほとんどは日本の漢字表記をそのまま借用しており、意味も字面の通り、日本で使用されている意味を継承している。したがって、台湾で通用している中国語と相性がよく、高い使用率を示したと思われる。なお、「直滑降」「庭師」のような語形の面においてすぐに意味の把握できない語は流行しにくい。

このように、日本の漢語は、中国語使用の台湾社会に入り、市民権を得るまで至ったものが見られた。漢語全体の歴史・流れにおいて実におもしろい現象である。

注

1. たとえば、許 (1998)、王敏東・陳錦怡 (2002、8) など。
2. 本稿では日本の漢字と台湾で使われている繁体字をとくに区別しない。
3. たとえば、1977年の「独身貴族」(台湾では「單身貴族」という)、1989年の「バーコードカット」(台湾では「條碼頭」と意識した)、1996年の「美少女育成ゲーム」(「美少女」が入っている)と「アムラー」(台湾では「安室」)などである。
4. 『日本国語大辞典』(1972 初版)。
5. 教育部 (1998)『重編国語辞典修訂本』(電子版 www.edu.tw)。
6. 教育部 (1999)『新詞語料彙編 1』など、ちなみに、調査に用いた3年間の新聞に日本のドラマ「人間失格」が8例も出ていた。
7. 教育部 (1998)『重編国語辞典修訂本』(電子版 www.edu.tw)。
8. 王敏東・陳錦怡 (2002、8)。
9. 王敏東 (2002)。
10. 「家庭教師」は台湾では普通「家教」と略す。このように、「家庭」と「教師」のいずれの頭文字を使って、略語を形成するのは多い。

参考文献

- 加茂正一 (1944)『新語の考察』三省堂 (日本)
- 日本大辞典刊行會編 (1972 初版)『日本国語大辞典』小学館 (日本)
- 何容主編 (1978)『国語日報字典』国語日報社出版 (台湾)
- 国語学会編 (1980)『国語学大辞典』東京堂 (日本)
- 三民書局編纂委員會編(1985)『大辞典』三民書局 (台湾)
- 米川明彦 (1989)『新語と流行語』南雲堂 (日本)
- 米川明彦 (1989)「新語・流行語」『講座日本語と日本語教育 6 日本語の語彙・意味 (上)』明治書院 (日本)
- 元婷婷 (1989)「略談臺灣地區流行新詞與社會心理的關係(上)」『華文世界』(台湾)
- 元婷婷 (1989)「略談臺灣地區流行新詞與社會心理的關係(下)」『華文世界』(台湾)
- 刁晏斌 (1995)『新時期大陸漢語的發展與變革』洪葉文化事業 (台湾)
- 臺灣中華書局辭海編輯委員會編 (1996)『辭海』臺灣中華書局 (台湾)
- 姜龍昭 (1996)『流行語中的情趣』健行文化出版 (台湾)
- 許斐絢 (1998)「解讀當下青少年流行語」『華文世界』(台湾)
- 教育部 (1998)『重編国語辞典修訂本』(電子版 www.edu.tw) (台湾)

- 教育部（1998）『新詞語料彙編 1』教育部國語推行委員會（台湾）
- 馬興國編著（1999）『流行語強強滾』世潮出版（台湾）
- 中国社会科学院言語研究所詞典編輯室編（1999年修訂3版、南京第232次印刷）『現代漢語詞典 修訂本』商務印書館（中国大陸）
- 許斐絢（2000）『台灣當代國語新詞探微』台灣師範大學華語文教學所碩士論文（台湾）
- 教育部（2000）『新詞語料彙編 2』教育部國語推行委員會（台湾）
- 日本国語大辞典第二版編集委員会小学館国語辞典編集部（2001二版）『日本国語大辞典』小学館（日本）
- 王曉寒（2001）『流行語粉有趣』臺灣商務印書館（台湾）
- 王敏東（2002）「台灣報紙與日本相關之報導——以專業領域、翻譯及日語教育為著眼點」『Quality Japanese Studies and Japanese Language Education in Kanji-Using Area in the New Century』（香港）
- 王敏東・陳錦怡（2002、8）「與日本相応的流行語——台湾の情形」『語文建設通訊』（香港）
- 曾欣文、林昌志、江東桓、王麗棻、黃梓庭、郭彥男（2002、12）『與日本相關的流行語——在網路上之使用情形』銘傳大学応用日語学系專題研究報告（王敏東指導）（台湾）

本稿における新聞での使用状況は主に銘傳大学応用日本語学科院生陳錦怡氏による調査結果に基づいた。インターネットでの使用状況は銘傳大学応用日本語学科学部生である曾欣文氏、林昌志氏、江東桓氏、王麗棻氏、黃梓庭氏、郭彥男氏がまとめた『與日本相關的流行語——在網路上之使用情形』という卒業論文（2002年12月に提出、中国語論文、王敏東指導）のデータを引用した。

なお、本論は2003年3月21日に韓国ソウルで開催された国際シンポジウム「漢字文化圏における近代語の成立と交流」での発表をもとにした。

王敏東 台湾 銘傳大学 応用日本語学科 副教授
陳錦怡 台湾 銘傳大学 応用日本語学科 非常勤講師

<付録Ⅱ>

奇摩

	芸術 と 文化	娯楽	スポー ツ	教育 学習	科学 と 技術	地域情 報	図書 と 出版	インタ ー ネ ッ ト	暮らし の 情 報	ビジネ ス 金 融	コンピ ュー タ ー	医学 保健	メディア と ニ ュ ー ス	社会 人文	政治 行政	趣味	未分類	共 同 (網 站 数)
変身	1	3	0	0	0	8	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	15
美少女	22	88	4	0	0	102	2	4	7	24	25	0	3	42	0	16	0	339
天敵	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	5
仮面	2	6	0	0	0	3	0	1	0	8	0	0	0	3	0	1	0	24
直滑降	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
失格	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
熱血	2	2	1	5	0	8	0	0	0	0	2	1	0	1	0	2	0	24
人気	13	8	1	0	1	57	0	7	5	17	8	0	5	16	1	112	0	251
悪女	0	4	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	11
庭師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
各 類 総 数	41	111	6	6	2	181	2	12	12	50	39	2	8	66	1	133	0	672

蕃薯藤

	レジャー と 旅行	社会と 文化	就職 経済	教育 学習	科学と 技術	政府機関	芸能	金融 投資	コンピュ ーターと インター ネット	ニュー ス・ メディア	社会 科学	芸術と 人文	医学 保険	未分類	共 (網站 数)
変身	2	0	2	1	1	0	4	0	1	0	0	1	0	1	13
美少女	53	0	2	1	0	0	58	0	13	1	0	1	0	10	139
天敵	2	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
仮面	8	0	0	0	0	0	4	0	2	0	0	1	0	3	18
直滑降	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
失格	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
熱血	2	1	0	0	1	0	5	0	2	1	0	0	0	1	13
人気	47	3	3	3	1	0	21	1	16	6	1	1	1	7	111
悪女	2	2	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	1	9
庭師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
各 類 総 数	118	6	7	6	6	0	95	1	34	9	1	4	1	25	313

新浪

	芸能	生活とレジャー	コンピューターとインターネット	スポーツ	科学と技術	社会人文	政治法律	教育学習	チャットと友達	旅行	医学保健	工商と経済	芸術と文化	ニュース・メディア	未分類	共(網站數)
変身	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	15
美少女	62	235	27	2	0	2	0	1	40	0	0	3	2	1	0	375
天敵	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
仮面	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
直滑降	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
失格	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
熱血	3	8	0	3	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	19
人気	68	86	41	3	0	4	1	4	80	1	0	18	2	10	0	318
悪女	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
庭師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
各類總數	138	342	69	8	2	8	1	6	123	1	2	22	6	11	0	739

Pchome

	芸能	政府機関と政治	交通と旅行	金融	ニュース・メディア	教育と学校	社会と文化	科学と技術	People	コンピューターとインターネット	生活とレジャー	スポーツ	交友とチャット	社会科学	医学保健	人文と芸術	会社とその他の機関	未分類	共 (網站数)
変身	3	0	0	0	2	0	0	0	1	2	4	0	0	0	1	3	0	1	17
美少女	87	0	0	0	2	1	0	1	17	36	77	2	5	0	0	3	1	16	248
天敵	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
仮面	4	0	0	0	0	0	0	0	3	1	9	0	0	1	0	0	0	1	19
直滑降	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
失格	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
熱血	5	0	0	0	0	2	0	0	2	9	6	1	1	1	0	0	0	1	28
人氣	61	1	0	4	3	0	2	0	13	16	20	2	32	0	1	2	3	34	194
悪女	11	0	0	0	1	0	4	0	4	0	3	0	2	0	0	0	0	1	26
庭師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
各類総数	174	2	0	4	8	3	6	3	41	64	119	5	40	2	2	8	4	55	540